

虐待

倫理委員会の報告より

公益社団法人長野県介護福祉士会

鈴木 よし子

今年度新たに、5名の方に2年間の任期で倫理委員会をお願いしました。そして11月15日に倫理委員会が開催され多くの意見をいただきました。

「塩尻市の介護施設の入所者を殺害、下諏訪町の男を殺人の疑いで逮捕」この事件で逮捕された男性が介護福祉士でした。この事件をもとに皆さんから意見をもらいました。その中で皆さんから出た意見として

- ・チームでどう考えていたのか
- ・尊厳をどう考えていたのか、尊厳が薄れていたのではないのか
- ・この事件に対して、無関心の会員もいるのではないのか
- ・介護に関してマイナスイメージである
- ・組織の問題、理念を理解しているのか
- ・コロナで施設に入っており、ブラックボックスになっている
- ・人手不足によるストレス
- ・周囲の人が傍観していたのか、見て見ぬふり
- ・相談する人、相談に乗ってくれる人がいなかったのか

知識強化

組織と環境改善

人手不足への対応

相談体制とメンタル

本人が虐待だと自覚していたのかはわかりませんが、ショックな事件でした。皆さんからは第三者委員会の活用、チェックリストの活用、ヒヤリハット事案の報告などの対策が上がっていました。

本会としては、研修の企画と研修参加を促す工夫をすること、現場で活躍できるリーダー的介護人材を育てること、人手不足への対応について会を超えて考えていくことが求められています。長野県で介護に従事する皆さんは、職業倫理を理解し、尊厳保持とプライバシーの保護等、自らの専門的知識、技術及び倫理的自覚をもって最善のサービス提供をしてもらいたいと思います。私たちの使命は何か？常に考えて行動していきましょう。

こんな標語があるので紹介します。

接遇標語

命の輝き

いつも笑顔で挨拶を

のーとは言わず まず聞こう

「～ちゃん」づけやめて 「さん」づけを

のがしていませんか 大事なサイン

かっとならず 一息ついて

がんばりも 一人よがり逆効果

やっています？話し合い やめてますか？井戸端会議

きったかな？ あそこの電気無駄づかい

① あいさつ

② ゆとりの介護

③ 言葉づかい

④ 気づき

⑤ 心身ともに健康に

⑥ チームで助け合い

⑦ 悪口言わずオープンに

⑧ 省エネ

「規範」「モラル」「美意識」を 自分の頭で考えるしかない

研修なくして介護なし

研修に出よう